



執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・青山ゆういち

住みやすい街の条件を、清潔・安心・交流の面から考えてみよう。

挑戦!

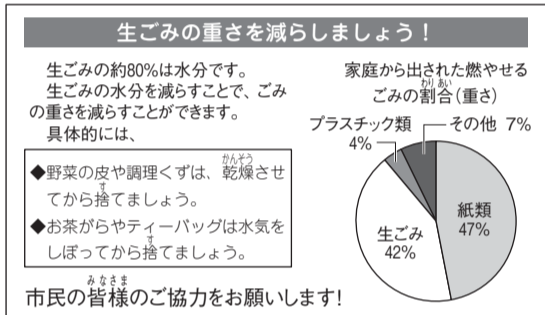


山口県立中等教育学校及び中学校 2019年度 記述式の課題1から抜粋 (一部改変)

けんたさんの学級では、総合的な学習の時間に、自分たちが住んでいるA市の様子を調べ、「A市の将来像」を考えることにしました。

「より住みやすいA市にするために大切なこと」について学級で話し合った結果、「きれいな市にする」「安心してらせるようにする」「市民の交流を増やす」の3つのテーマを設定し、グループごとに調べることにしました。

【話し合いの一部】 図1 A市のチラシ



けんた：職員の方の説明によると、A市のごみの量は減っているんだね。

さや：でも、ごみ処理のために、毎年多くの費用がかかっていたよ。

けんた：だから、各家庭にチラシ(図1)を配って、ごみの量をさらに減らそうとしているんだね。

たくみ：ごみへの対策の他に、リサイクルについても教えてもらったよ。

あやか：2000年には、リサイクルを進めるために、資源有効利用促進法が作られて、商品を作る会社は、プラスチック製品に識別マーク(図2)を付けなければならなくなったんだね。

さや：マークが付いたことで、消費者も、より分別しやすくなったんだね。

けんた：それぞれの立場でリサイクルを進めることが大切だよな。

① 図1は、A市が市民に対して、生ごみの重さを減らす方法を提案したチラシです。チラシでよびかけている内容として正しいものを、

資料問題編④

住みやすい街にするためには

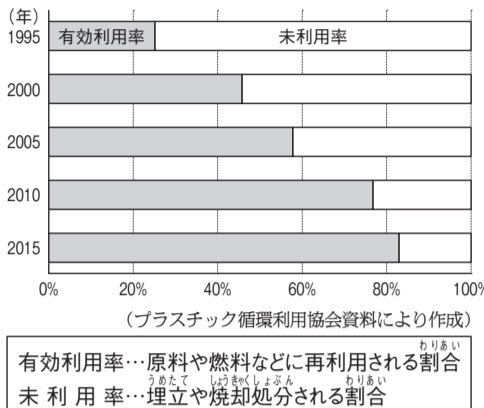
次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 好ききらいをなくして食べ残しを減らす。
イ 生ごみは、かわかしてから捨てる。
ウ 容器の再利用ができる商品を買う。
エ 野菜の葉や皮を調理して食べる。



② A市では、1年間で3万tの燃やせるごみが家庭から出されています。このうち、生ごみは何t出されていることになりませんか。図1にある円グラフをもとに、求める式を書きましょう。(計算の答えを書く必要はありません。)

図3 プラスチックの有効利用率の推移



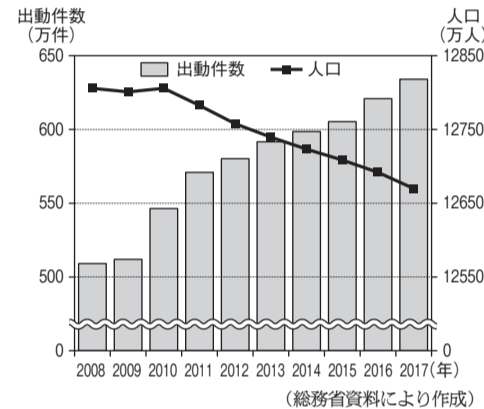
③ 図3を見ると、プラスチックの有効利用率が増えていることが分かります。その理由を、【話し合いの一部】をもとにして、2つ書きましょう。

問題2 みさきさんのグループは、「安心してらせるようにする」をテーマに、市民のくらしを守るしくみを調べる中で、次の【救急車についての記事】と図4のグラフを見つめました。あとの問い①、②に答えましょう。

【救急車についての記事】

2017年の救急車の出動件数は、全国で約634万件となり、前年より約13万件増えています。近年は、過去最高の出動件数を更新し続けています。

図4 全国の救急車の出動件数と日本の人口の推移



救急車は、急病や事故などのとき、多くの人にとても役に立つものです。しかし、基本的に無料で利用できるため、最近では、きん急でないときや軽いけがのときでも救急車をよぶ人が増えているそうです。

① 図4は、全国の救急車の出動件数と日本の人口の推移を表しています。図4から読み取ることのできる内容として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 2008年と2017年を比べると、救急車の出動件数は約13万件増えている。
イ 2008年と2017年を比べると、救急車の出動件数は約2倍増えている。
ウ 2010年から2017年まで、人口は減っているが、救急車の出動件数は増えている。

エ 2010年から2017年まで、救急車の出動件数は、人口に比例して増えている。

② 本当に困っている人が、必要とするときに救急車を利用することができるよう、私たちはどのようなことに気をつけるとういでしょうか。【救急車についての記事】をもとに、25字以上35字以内で書きましょう。

問題3 かずやさんのグループは、「市民の交流を増やす」をテーマに、A市の行事を調べました。調べる中で、A市では「A市祭り」を続けるかどうかで、市民の意見が分かれていることを知りました。次のア～エの意見は、表1のa～dのどの立場にあてはまりますか。それぞれ記号で答えましょう。

表1 市民の意見を整理した表

Table with 3 columns: 意見, 後継者に注目した意見, お金に注目した意見

- ア 祭りをすると、観光客が来て、市内のお店がもうかるので、続けた方がいいと思います。
イ 祭りの担い手が、どんどん減っているのだから、やめる時期だと思っています。
ウ 続けるべきです。祭りのよさを知ることによって、将来、祭りの運営をしたいと思う人が増えると思います。
エ 祭りをやめて、公園の整備や清掃のためにお金を使うべきだと思います。

解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!



問題1 ① 「生ごみの約80%は水分」ですので、「乾燥させ」たり「水気をしぼって」捨てることで重さは減りますね。

② ケタの大きい数と小数との計算では位取りに注意。

③ 有効利用を進めるためには、ごみ捨ての当事者である消費者に分別しやすい対策を立てることがポイントとなりますね。

問題2 ① 1つの図の中に2つの異なる種類のグラフが入っている場合には、各グラフが示している事柄やその目もりの単位を見間違わないように注意しよう。

② 「記事をもとに」考えることが条件となっています。

問題3 まず意見を、続ける方かやめる方かで分け、次にその理由を後継者とのお金のどちらに着目しているかを見ていこう。



問題1 ① イ ② 30,000t x 0.42
③ ・資源有効利用促進法が作られプラスチック製品に識別マークが付けられるようになった。 ・そのマークにより消費者がプラスチック製品を分別しやすくなった。

問題2 ① ウ ② 急病や事故といったきん急性がないときや軽いけがのときは利用しない。(33字)

問題3 ア→b イ→c ウ→a エ→d

<水曜に掲載します>